

科目別キーワード集 利用の手引き

- ・本キーワード集は、大学で心理学を学んだ成果を評価する基準という観点から設定されています。
- ・心理学検定で認定された級が心理学系大学院の入学試験選考資料となることも想定して項目を選択しています。
- ・このファイルには、科目ごとのキーワードを専門用語と人名を分けて記載しています。
- ・心理学検定は各科目 20 問の出題なので、回ごとに見れば出題されない項目の方が圧倒的に多くなります。他方、各種の心理学辞典に比べると項目数をかなり絞っているため、本キーワード集にない項目に関わる問題が出題される可能性もあります。
- ・本キーワード集に含まれるすべての項目は、[『心理学検定 専門用語 & 人名辞典』](#)で解説されています。
- ・上記以外にも、[公式問題集](#)や[推薦書籍](#)などを活用して系統的に学んでください。

【産業・組織】

注：◎は「公認心理師試験出題基準・ブループリント：令和3～5年版」の小項目に対応するキーワード

事項

● アルファベット

AIDMAモデル
EAP
EBMモデル
off-JT
OJT
PM理論
POSシステム
QWL
X-Y理論

● ア行

アイトラッキング
悪質商法
アクション・リサーチ
アンガーマネジメント
アンコンシャス・バイアス
安全配慮義務
◎ 安全文化／安全風土
安全マネジメントシステム（SMS）
一次予防／二次予防／三次予防
オープン・システム・アプローチ
オピニオンリーダー

● カ行

解釈主義的アプローチ
科学的管理法
確証バイアス
◎ 過労死（過労自殺）
感情労働
危険予知訓練（KYT）
期待理論
技能獲得
技能伝承
◎ 気分障害
キャリア・アンカー
キャリア自己効力
◎ キャリア発達（キャリア開発，CDP）
キャリア・プラトール
苦情（クレーム）
グループインタビュー
グループダイナミックス
計画購買／非計画購買
計画された偶発性
限定商法
広告効果
高信頼性組織（HRO）
公正理論
行動経済学
購買意思決定過程
購買行動
購買動機
衡平理論
◎ 合理的配慮
コーピング
顧客満足（CS）
コンピテンシー

コンプライアンス

● サ行

サーバント・リーダーシップ
最小二乗法
産業保健
◎ ジェンダー
自己啓発
自己評価／他者評価
市場細分化
システムズ・アプローチ
社会的手抜き
集団意思決定
集団規範
集団凝集性
集団創造性
準拠集団
消費者ニーズ
消費者保護
消費の外部性
情報処理パラダイム
職業性ストレスモデル
◎ 職場復帰支援
職務拡大
職務充実
職務特性モデル
職務分析
職務満足感
ジョブ・クラフティング
人事考課（人事評価）
人事評価バイアス
人事評価フィードバック
◎ 心的外傷後ストレス症／心的外傷後ストレス障害（PTSD）
信頼性／妥当性
心理的安全性
心理的財布
◎ 睡眠
◎ ストレスチェック制度
ストレスラー
◎ 精神障害／精神疾患
精神障害の労災認定基準
製造物責任法（PL法）
精緻化見込みモデル
製品関与
製品コンセプト
◎ セクシャル・ハラスメント
説得的コミュニケーション
選択ヒューリスティックス
◎ ソーシャルサポート
ソーシャル・マーケティング
組織開発（OD）
組織学習
組織コミットメント
組織事故
組織市民行動
組織社会化
◎ 組織風土
◎ 組織文化

【産業・組織】

注：◎は「公認心理師試験出題基準・ブループリント：令和3～5年版」の小項目に対応するキーワード

組織変革

4P

● タ行

- ◎ 態度
- ◎ ダイバーシティ
多面考課（多面評価、360度評価）
- ◎ 男女雇用機会均等法
チームワーク
ディーセント・ワーク
適応障害
適性検査
テレワーク／リモートワーク
店頭マーケティング
店舗内購買行動
- ◎ 動機づけ（モチベーション）
動機づけ－衛生要因理論
- ◎ 特性5因子モデル／ビッグ・ファイブ
トランジション

● ナ行

- 内発的動機づけ／外発的動機づけ
人間工学
能力開発

● ハ行

- ◎ バーンアウト
ハインリッヒの法則
端数価格
パス・ゴール理論
- ◎ 働き方改革
バリアフリー
- ◎ パワー・ハラスメント（パワハラ）
ヒヤリハット
ヒューマン・アセスメント
ヒューマンエラー
ヒューマンファクター
疲労
ブランド志向／ブランド選好
プロスペクト理論
プロトコル法
変革型リーダーシップ
ホーソン研究（ホーソン実験）
ホルランドの6角形モデル

● マ行

- マーケティング
マインドフルネス
マタニティ・ハラスメント
マルチ商法
メンター／メンタリング
- ◎ メンタルヘルス・マネジメント
目標管理
目標設定理論

● ヤ行

- ユニバーサルデザイン
要請技法
欲求階層説

● ラ行

- ライフスタイル
リアリティショック
- ◎ リーダーシップ
リーダーシップ状況適合論
リーダーシップ特性論
リーダー－メンバー交換理論（LMX理論）
リスク／リスク認知
リスクコミュニケーション
リスクマネジメント
- 流行
レジリエンス・エンジニアリング
- ◎ 労働安全衛生法
- ◎ 労働災害
労働時間

● ワ行

- ◎ ワーク・エンゲージメント
ワーク・ファミリー・コンフリクト
ワーク・モチベーション
- ◎ ワーク・ライフ・バランス

人名

● ア行

ヴント（Wundt, W. M.）

● カ行

カーネマン（Kahneman, D.）

● サ行

サイモン（Simon, H. A.）
シャイン（Schein, E. H.）
ジャニス（Janis, I. L.）
セリエ（Selye, H. H. B.）

● タ行

テイラー（Taylor, F. W.）
トヴェルスキー（Tversky, A.）

● ハ行

ハーズバーグ（Herzberg, F.）
フェスティンガー（Festinger, L.）
ホヴランド（Hovland, C. I.）
ポズナー（Posner, M. I.）

● マ行

マグレガー（McGregor, D. M.）
マクレランド（McClelland, D. C.）
マズロー（Maslow, A. H.）
松本亦太郎（まつもとまたたろう）
マレー（Murray, H. A.）
ミュンスターバーグ（Münsterberg, H.）

● リ行

リッカート（Likert, R.）